

■ 高齢者支援に関するネットワーク体制一覧（詳細）

資料 1 - 2

	①個別ケア会議	②包括圏域会議	③多職種連携会議	④地域包括支援センター連絡会議	⑤区地域ケア会議
■開催主体	地域包括支援センター	地域包括支援センター	区保健福祉センター	区保健福祉センター	区保健福祉センター
■目的	関係者・関係機関による個別ケースの支援内容の検討を通じて ・課題解決や自立支援に資するケアマネジメントを支援する ・関係機関のネットワークの構築を図る ・個別ケースの課題分析の蓄積による地域課題発見等につなげる	・関係機関との連携により、地域全体の高齢者に関する包括的・継続的ケアマネジメントを構築する。	・多職種でのアセスメントにより、個別課題の解決を図る ・支援者のアセスメントの質、支援スキルの向上を図る ・多職種間のネットワークの構築を図る ・検討事例より抽出した地域課題の集約を図る ・各地域包括支援センターからの高齢者支援におけるニーズの集約を図る	・区内の地域包括支援センターの情報交換や連携の促進を図る ・区内の地域包括支援センターの運営や業務に関する課題について協議する ・行政からの情報提供を行う	・各地域包括支援センターの圏域を越えて取り組むべき課題について検討する ・区内における包括の連携や関係機関の連携による地域における様々な活動の支援、地域に不足する社会資源の育成等についての協議、情報交換を行う
■開催頻度	必要時開催	年2回以上	年4回程度	年4回程度	年2回程度
■参加者	次のような会議構成員が考えられるが、会議の目的を達成するのに、最も適切だと考えられる参加者を選ぶ。 ・本人・家族 ・介護支援専門員 ・介護サービス事業者 ・保健・医療関係者 ・民生委員児童委員 ・町内会等住民組織 ・区保健福祉センター ・その他行政機関 ・地域包括支援センター など	・保健・医療機関 ・民生委員児童委員 ・町内会等住民組織 ・地区社会福祉協議会 ・老人クラブ ・NPO、ボランティア ・介護保険サービス等事業者 ・区保健福祉センター ・地域包括支援センター など	・アドバイザー ・区内の地域包括支援センター ・ケース担当の介護支援専門員 ・ケース担当のサービス事業所 ・区保健福祉センター ・その他区保健福祉センター所長が必要と認める者 など	・地域包括支援センターの所長その他の職員 ・区保健福祉センター ・その他区保健福祉センター所長が必要と認める者	・仙台市医師会 ・仙台歯科医師会 ・区民生委員児童委員協議会 ・区連合町内会長協議会 ・区老人クラブ連合会 ・仙台市老人福祉施設協議会 ・宮城県老人保健施設連絡協議会 ・区社会福祉協議会 ・宮城県認知症グループホーム協議会 ・仙台介護サービスネットワーク ・地域包括支援センター所長 ・区保健福祉センター ・その他区保健福祉センター所長が必要と認める者（※高齢企画課に事前に協議すること）
■検討事例	・支援者が困難を感じているケース ・支援の方向性や方法の見直しが必要と考えられるケース ・支援が必要だと判断されるがサービスにつなげていないケース ・権利擁護が必要なケース ・地域課題に関するケース	個別ケア会議で抽出された課題や地域アセスメントからの課題などを参加者で共有し、次のことを検討する。 ・地域の高齢者支援における課題の明確化 ・地域の高齢者に対する支援のあり方 ・地域資源の掘起こしと開発 ・地域の関係機関の連携促進・ネットワーク構築 など	自立支援に資するケアマネジメントにおいて難しさを感じているケースで、多様な専門職による多面的な検討が必要なケース 例① 疾病管理、体調管理に問題があったり、本人の意欲がないなどで、うまくケアマネジメントできないケース。 例② ケアマネジメントにおいて、アセスメントの視点や支援の方向性、セルフケアの工夫等について、多職種の多面的な検討によるアドバイスがほしいケース。 例③ 認知症が疑われるが、支援が進まないケース など	・区内の地域包括支援センター間のネットワークの構築その他の連携に関すること ・区内の地域包括支援センターの業務における課題に関すること ・区内の地域包括支援センターに対する支援、指導に関すること ・多職種連携会議、区地域ケア会議に関して調整が必要なこと ・その他区内の地域包括支援センターの運営に関し必要な事項	包括圏域会議等の報告を踏まえ、次のことを検討する。 ・区内の地域の関係機関のネットワークの構築その他の連携の促進に関すること ・区内の地域の社会資源等に関すること ・区内の地域包括ケアの総合的な推進に関すること ・その他地域包括ケア体制の構築の推進に関し必要な事項